

# ストーブの安全な取り扱いとは？

こちら  
**119番**

- 消防テレガイド  
☎69-6141
- 在宅医テレガイド  
☎67-2828
- こちら119番  
消防本部通信指令室  
☎68-5119

ストーブなどの暖房器具が活躍する季節がやってきました。しかし、使い方を誤ると火災の原因になります。ストーブなどの暖房器具が原因で発生した火事のうち、石油ストーブによるものが圧倒的に多く、電気ストーブがそれに次いでいます。そこでストーブによる火災の予防についてを紹介します。

■**使用書以外の使い方をしない**  
ストーブは、使用書に書いてある正しい使い方をしなければ火災の危険はまずありません。洗濯物を乾燥させたりしないください。また、給油は必ず火を消してから、油が灯油であることを確認し、慎重にタンクに入れてください。特に、ガソリンや軽油など異なった油を入れないように注意してください。給油時の事故が時々発生しています。なお、カートリッジ式の場合はタンクの蓋を確実にしめるようにしてください。



## ■使う場所を考えて

狭い場所で使う場合は、ファンヒータータイプのもので安全で、火が露出していないので安全です。お年寄りや小さい子どもがいる家庭では、器具の回りに囲いをして、手に触れないようにする配慮も必要です。

## ■外出のときには

必ず火を消して  
外出するときは、必ず消火の確認をしてください。また、暖房をしたまま子どもを家に置いて、外出するのやめましょう。

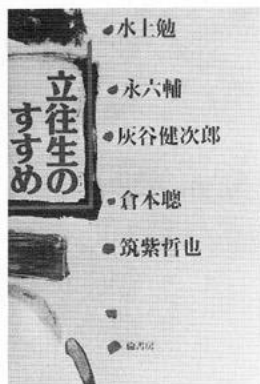
## ■具合が悪ければ修理に出す

「変な音がする」「嫌なおいがする」「炎がふぞろい」等気になる点があったら、すぐに専門の業者にみてもらいましょう。日ごろから手入れや点検を行い、火事を起こさないよう気をつけましょう。

# 図書館 だより

## 新刊書紹介

心筋梗塞で倒れ、心臓が三分の一になった水上勉を励まそうと、筑紫哲也、永六輔、灰谷健次郎らが呼びかけて始まった手弁当のイベント「幻夢一夜」。95年には水上の喜寿の祝いを兼ねた「話の会」を催した。題して「一滴・暦論立往生」。人は一滴から命が誕生し、そして齢を重ね育ち生きる。ただただ猛進して生き急ぐだけが能ではない。立往生とも少しは付き合ってみよう。と、諸氏が語られた話をそのままお届けする書である。



『立往生のすすめ』  
水上勉ほか著 倫書房



鹿島北読書会  
榊原容子さん

## おすすめの1冊

『……………』  
もう一度、あの童話に出会いたい。

おすすめの1冊とは、趣旨が少々異なりますが、私が小学生の時（昭和23年頃）雑誌「銀の鈴」に「天にのぼったカッパ」という童話が連載されていました。

カッパたちが、天へのぼるとき唱える呪文があります。次のような言葉を発します。「ホネ。オプ。ウン。クル。サン。ミトポ。エステブ。クネル。ハンネ」と3回唱えるのです。

本の題名も、作者の名前も、発行社名も分ならず、ただ呪文のみがヒントのこの童話、どなたか御存知ありませんか。変わった呪文の文句を覚えているばかりに、もう一度あの童話に出会いたいと願っております。